

		2021/12/05, 12/06 eiya iwata	神武天皇のやまとことばと漢文字のおくりな
		古事記	高天原
		論 (おくりな)	
	諡号	神武天皇	(第一層)
	漢字表記	神倭伊波禮毘古	第二層
	やまとことば による読み	かむやまといはれびこ (の・すめらみこと)	ヒコの造語上の位置はや まと (地上) の時間の中 に存在する国での名前の 順序
	古事記と日本 書紀の表現と 表記の差異の 理由の説明	「かむやまといはれびこ」といふ名前だけで、このヒトがスメラ・ミコトだといふことが自明であつたので日本書紀のやうに文字では表してゐない。それと併せて、やはり片葉・片葉で古事記のスメラ・ミコトは隠し (何故なら高天原の第一層のカミだから正体はお隠れになつてゐる)、日本書紀では表してゐる。古事記の方を今もし文字で表すならば、存在論の記号を使へば、「かむやまといはれびこ (の・すめらみこと)」といふことになるでせう。	古事記と日本書紀で神武天 値が等価交換されてゐる。 メラ・ミコトが日本書紀に が古事記となり、日本書紀 記と紀元の紀が等価交換さ 御前での此の最初の書名の 富の創造の上に神武天皇の それ故に古事記では同じ漢 な) とあり、日本書紀は (り なは死者におくり、ただ
	造語法上の解 説	カムーは、豊葦原瑞穂の国のトヨーと同じ値と格を有する。トヨーと付い; モノもコトも帰属する。	
	典拠	朝日新聞社・朝日古典全書『古事記 下』の「古事記中巻」51ページ	

Table 1

(諡) について(v2)			
の階層	日本書紀		
	諡 (ただのみな)		
第一層	彦火火出見 (ひこほほでみ)		
第二層	神日本磐余彦天皇		
比較をすると「高天原にあるやまと」といふ名前が「かむやまと」の意味と判る	かむやまと・いはれひこ・の・すめらみこと		
皇のやまとことばの名前の本来は古事記にあるべき位置に置かれてゐるのは、古事記が日本書紀となつて記録されたのと同じ。天武天皇の等価交換といふ大祓による送りなも成り立つてゐる。字を用ひてゐても(おくりただのみな)とある。おくのみなは生者におくる。	「かむやまと・いはれひこ」にスメラ・ミコトがついてゐるのは、古事記の余白(高天原第一層のカミであるといふこと)と等価交換をして、片葉・片葉の論理で、古事記で余白と沈黙に隠し、日本書紀で漢字の文字には表したといふこと。即ち、大祓をしたといふことです。そして価値の等価交換によつて生まれる余剰としての富が生まれた。その富を余の漢字で表し、やまとことばで、イハアレまたはイハレといふ祝言の祈願のことばとなつてゐる。		
たら高天原の第二層に、カムーとついたら高天原の第一層に、その対象はヒトも			
	岩波文庫版『日本書紀(一)』巻三、198ページ		

